

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年6月16日 (2011.6.16)

【公表番号】特表2010-526780(P2010-526780A)

【公表日】平成22年8月5日 (2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2010-506560(P2010-506560)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 31/712 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

C 1 2 N 15/115 (2010.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 31/712

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 9/00

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 48/00

C 1 2 N 15/00 G

C 1 2 N 15/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月22日 (2011.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

siRNA Z、ペガプタニブ、ラニビズマブおよびベバシズマブから選択される高分子抗血管新生成分 (MAAC) の治療上有効量を含む、哺乳動物の眼の内部に投与することによる眼

症状処置のための組成物であって、さらに130万～200万ダルトンの平均分子量を有するヒアルロン酸である粘性誘導成分を含む、組成物。

【請求項2】

溶液の形態である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

ゲルの形態である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

懸濁液の形態である、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

眼症状の症候が血管新生である、請求項1～4いずれか1項に記載の組成物。

【請求項6】

粘性誘導成分が25 において0.1/秒の剪断速度にて少なくとも約100 cpsの粘度を有するか、または25 において0.1/秒の剪断速度にて少なくとも約1000 cpsの粘度を有するか、または25 において0.1/秒の剪断速度にて少なくとも約10,000 cpsの粘度を有するか、25 において0.1/秒の剪断速度にて少なくとも約70,000 cpsの粘度を有するか、または25 において0.1/秒の剪断速度にて少なくとも約200,000 cpsの粘度を有するか、または25 において0.1/秒の剪断速度にて少なくとも約250,000 cpsの粘度を有するか、または25 において0.1/秒剪断速度にて少なくとも約300,000 cpsの粘度を有する、請求項1～5いずれか1項に記載の組成物。

【請求項7】

眼の内部に27ゲージ針または30ゲージ針を通して眼の後区内に配置されることによって投与されるための、請求項1～6いずれか1項に記載の組成物。

【請求項8】

前記症状が眼の後区の症状である、請求項1～7いずれか1項に記載の組成物。

【請求項9】

前記症状が、非滲出性加齢性黄斑変性症および滲出性加齢性黄斑変性症を含む黄斑変性症、脈絡膜新血管新生、網膜症、糖尿病性網膜症、急性および慢性黄斑視神経網膜症、中心性漿液性網脈絡膜症、黄斑浮腫、急性多発性小板状色素上皮症、ベーチェット病、散弾状網脈絡膜炎、後部強膜炎、匍行性脈絡膜炎、網膜下線維症、ブドウ膜炎症候群、フォークト・小柳・原田症候群、網膜動脈閉塞性疾患、網膜中心静脈閉塞症、播種性血管内凝固障害、網膜静脈分枝閉塞症、高圧性眼底変化、眼虚血症候群、網膜動脈毛細血管瘤、コーツ病、傍中心窩毛細血管拡張症、半側網膜静脈閉塞症、乳頭静脈炎、網膜中心動脈閉塞症、網膜動脈分枝閉塞症、頸動脈疾患（CAD）、霜状分枝血管炎、鎌状赤血球網膜症、網膜色素線条症、家族性滲出性硝子体網膜症、イールズ病、増殖性硝子体網膜症、増殖性糖尿病性網膜症、腫瘍に関連する網膜疾患、RPEの先天性肥大、後部ブドウ膜黒色腫、脈絡膜血管腫、脈絡膜骨腫、脈絡膜転移、網膜および網膜色素上皮の混合性過誤腫、網膜芽細胞腫、眼底の血管増殖性腫瘍、網膜星状細胞腫、眼内リンパ系腫瘍、近視性網膜変性症ならびに急性網膜色素上皮炎からなる群から選択される、請求項1～8いずれか1項に記載の組成物。